

13. 先端技術科学教育部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 32)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 33)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 企業等における実践的な環境の下で、大学と企業による共同課題、企業等における課題等の探求活動、技術経営の実践等を体験することにより、研究や企業において中核的役割を果たす人材を育成することを目的とした授業（「長期インターンシップ（M）」「長期インターンシップ（D）」）を実施している。
- 留学生が在籍する自国の大学院専攻をメジャーとし、徳島大学の「知的力学システム工学専攻」「物質生命システム工学専攻」「システム創生工学専攻」のいずれかに入学する、いわゆるメジャー・マイナー履修生を基盤とする15の海外大学とのダブル・ディグリー協定のもと、国際連携大学院プログラムを実施し、海外から優秀な留学生を受け入れている。
- 民間企業からの寄附講座「ナノマテリアルテクノロジー（日垂）講座」（社会産業理工学研究部）では、高度情報化社会を支える先端的「ものづくり」技術の開発を理念として、半導体ナノ構造を利用した新機能デバイスの創製を目指しており、次世代の光情報処理システムや未開拓の電磁波であるテラヘルツ波を利用したアプリケーションに貢献する光源デバイス、光検出デバイス、結晶成長からナノ構造の加工、材料・素子特性の計測評価などに関係する大学院修士、博士論文の審査を行っている。
- 学生が科学技術とものづくりに関する自然科学の基礎から応用・社会実装までの知識と技術を実験実習等により修得する際に、補助を行う技術職員組織として総合技術センターを設置している。「分析分野」「ものづくり分野」「計測制御システム分野」「情報システム分野」「管理運営分野」「地域協働分野」の6分野から構成され、教育・研究内容に合致した分野が技術的支援を担うほか、安全・安心で快適な教育・研究環境を整えるための職場の安全管理や、学生への安全教育にも携わっている。
- 香川大学との連携プログラム「四国防災・危機管理プログラム」では、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目指し、社会人や大学院生などを対象に、香川大学と徳島大学が共同で実施している。徳島大学では「行政・企業防災・危機管理マネージャー」の養成コースを開設しており、必要な単位を修得した修了生には、災害・危機対応マネー

ジャーの資格が与えられる。毎年、先端技術科学教育部の学生約4名が受講・修了している。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

〔特色ある点〕

- 次世代を担う青少年の科学する心を育成するとともに、科学に対する関心を高め、ひいては地域社会の科学技術の振興に貢献することを目的とした「科学体験フェスティバル」を各種団体・企業の協力のもとで開催している。2日間の開催で延べ9千名が参加する大きいイベントであり、出展ブース（約50件）の運営には先端技術科学教育部学生が多数ボランティアとして参加している。